

ICOM

ご使用になる前に

特定小電カトランシーバー IC-4350 IC-4350L

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本書では、注意事項と基本的な取り扱いを記載しています。本製品の詳細な設定や別売品などについては、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧ください。

<p>下記URL、またはQRコードから弊社ホームページ(サポート→法人のお客様(または、個人のお客様)→取扱説明書)にアクセスすると、取扱説明書を検索できます。</p>	
<p>アイコム株式会社 サポート情報 https://www.icom.co.jp/support/</p>	

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、ポケットビーブは、アイコム株式会社の登録商標です。QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。最新の内容は、弊社ホームページで公開しています。本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

アイコム株式会社

547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32 A7519D-1J-1 Printed in Japan © 2019–2021 Icom Inc.

アフターサービスについて

取扱説明書にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は お買い上げの販売店にお問い合わせください。 保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。
保証期間後は お買い上げの販売店にお問い合わせください。 修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

- 保証書について
保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

- 弊社製品の技術的なお問い合わせ先について
お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。
お問い合わせ先
アイコム株式会社 サポートセンター
0120-156-313 (フリーダイヤル)
◆ 携帯電話・公衆電話からのご利用は、06-6792-4949 (通話料がかかります)
受付 (平日 9:00～17:00)
電子メール：support_center@icom.co.jp
アイコムホームページ：https://www.icom.co.jp/

安全上のご注意

- 使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくご使用いただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。
- 次の「△危険」、「△警告」、「△注意」の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△危険	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
△警告	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
△注意	これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

免責事項について
地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、本製品の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とは異なる使用方法で本製品を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。人命救助などを目的とした通信に本製品を使用し、通信の途絶、故障や誤作動、電池の消耗などにより、人命に関わる事態が生じても、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

△危険

- **引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。
- **次の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、けが、故障の原因になります。**
 - 充電器に指定以外のACアダプターを接続しないでください。
 - 指定以外の充電器を使用しないでください。
 - 充電端子間をショートさせないでください。

△警告

- **民間航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、これらの関連施設周辺では絶対に使用しないでください。**
交通の安全や無線局の運用などに支障をきたす原因になります。運用が必要な場合は、使用する区域の管理者から許可が得られるまで電源を入れないでください。
- **電子機器の近く(特に医療機器のある病院内)では絶対に使用しないでください。**
電波障害により電子機器が誤動作、故障する原因になりますので、電源を切ってください。
- **分解、改造しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。
- **アンテナを持って本製品を振り回したり、投げたりしないでください。**
本人や他人に当たって、けがや故障、および破損の原因になります。
- **大きな音量でヘッドホンやイヤホンなどを使用しないでください。**
大きな音を連続して聞くと、耳に障害を与える原因になります。
- **万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常がある場合は、使用しないでください。**
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。
- **赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。**
感電、けがの原因になります。
- **電子レンジや高圧釜などに入れたり、電磁調理器の上に置いたりしないでください。**
破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

△注意

- **直射日光の当たる場所や空調機器の吹き出し口など、温度変化の激しい場所には設置しないでください。**
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。
- **アンテナを折り曲げたり、ねじったりしないでください。**
変形や破損の原因になることがあります。
- **付属品、および指定の別売品以外は使用しないでください。**
故障の原因になることがあります。
- **ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。**
落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となることがあります。
- **電気・電子機器の動作に障害を与える場合は、送信しないでください。**
テレビやラジオなどに受信障害を与えたり、プレーカーなどの機器が誤動作したりする原因になることがあります。
- **－10℃～＋50℃以外の環境では使用しないでください。**
記載の温度範囲以外でのご使用は、故障の原因になることがあります。
- **製品を投げたり、落としたりして、強い衝撃を与えないでください。**
けが、故障の原因になることがあります。
- **清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。**
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。

- **湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所に置かないでください。**
故障の原因になることがあります。
- **長期間ご使用にならない場合は、電池を取り出してください。**
電池の液もれにより、故障の原因になることがあります。
- **針金などの細い棒でマイクやスピーカーの穴に触れないでください。**
故障の原因になることがあります。

■ 充電器

△警告

- **次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。**
 - 充電器に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。また、水にぬれたときは、使用しないでください。
 - ぬれた手で電源プラグや機器に絶対に触れないでください。
 - 充電器の充電端子接点部に金属類を差し込まないでください。
 - 電源ケーブルに傷がある、またはACコンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。

△注意

- **次の事項を守らないと、火災、液もれ、発熱、感電、故障の原因になることがあります。**
 - 0℃～40℃以外の環境で充電しないでください。
 - 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所に置かないでください。
 - 電源ケーブルを抜き差しするときは、電源ケーブルを引っ張らないでください。
 - 充電後や充電しないときは、ACアダプターを抜いてください。

電磁ノイズについて

以下に示すようなインバーター回路内蔵の電子機器の近くで使用すると、電磁ノイズの影響を受けて、正常に受信できないことがあります。

インバーター回路内蔵のおもな電子機器

○LED照明器具
○電磁調理器
○給湯器
○自動車に搭載された電子機器
○太陽光発電装置

電波法上のご注意

○他局の通信を妨害することや、通話の内容をほかにもらし、これを窃用することは、かたく禁じられています。
○使用できるのは、日本国内に限られています。

本製品の概要について

- IP67(耐塵形と防浸形)^{*1}の性能に対応できるよう設計されたプレストーク方式の特定小電カトランシーバーです。
- 単信、および半複信の通信方式^{*2}に対応しています。
- 単信は20チャンネル、半複信は27チャンネルに対応しています。
- 別売品の中継装置を使用することで、電波が直接届かない場所でも通話できます。中継装置については、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品は、免許不要・資格不要です。
- IC-4350Lは、ロングアンテナを採用していますので、IC-4350同士より安定した通話ができます。(IC-4350L同士の場合)

- ★1 IP表記については、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧ください。
- ★2 単信　　：無線機同士が直接通話する方式です。
　　　　　送信と受信を交互に切り替えて通話します。
- 半複信　：別売品の中継装置を経由して通話する方式です。
　　　　　単信と同じように、送信と受信を交互に切り替えて通話します。

従来製品との相互使用について

本製品は、下記の弊社無線機と相互に通信できます。
(2021年11月現在)

IC-4110	IC-4110D	IC-4188D	IC-4300	IC-4300L
IC-4310	IC-4310L	IC-4350	IC-4350L	IC-4400
IC-4400L	IC-MS5010	IC-RP4130GW	IC-RP4150W	

通話に使用できるチャンネルの範囲については、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧ください。

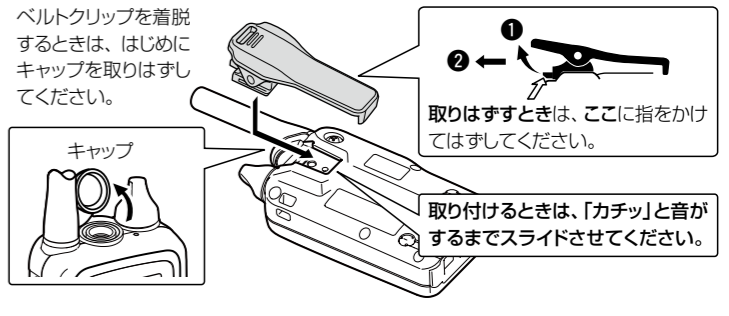
付属品

□ベルトクリップ(MB-127) …………… 1
□ご使用になる前に(本書)
□アタッチメント …………… 1
□保証書

※電池は付属していませんので、お客様で市販の単3形アルカリ乾電池、または別売品のBP-260(充電式電池)をご用意ください。

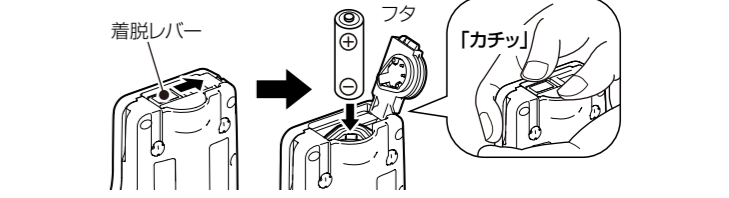
■ ベルトクリップの着脱

本製品は、ベルトクリップを装着した状態で出荷しています。



■ 電池の入れかた


本体底面の着脱レバーを矢印の方向にスライドさせて、フタを開けます。市販の単3形アルカリ乾電池(1本)、または別売品のBP-260(充電式電池)を下図のように、マイナス(－)側から挿入してください。



※「カチッ」と音が鳴るまで、両手で確実にフタをしてください。
※間違えてプラス(+)側から電池を挿入すると、無線機は動作しません。また、故障の原因になりますので、ご注意ください。
※BP-260をはじめてお使いになる場合、必ず充電してください。(裏面参照)
また、BP-260に付属の取扱説明書もあわせてお読みください。
※運用時間(寿命)は、パワーセーブ機能動作時に送信1分/受信1分/待ち受け8分の時間比で使用した場合、アルカリ乾電池で約33時間*、BP-260で約30時間*です。
★運用時間は目安です。
使用条件や電池の種類(製造元など)により、使用時間が大きく異なることがあります。

△注意

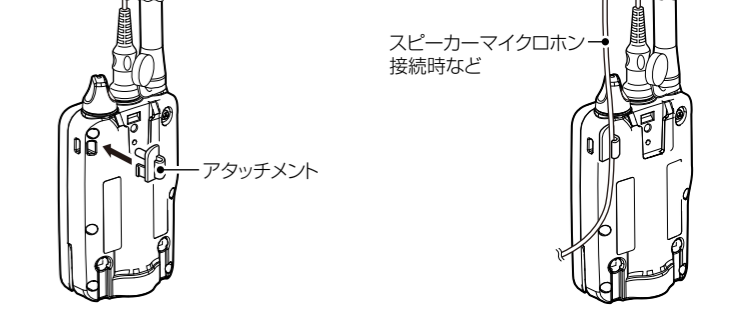
○市販の単3形アルカリ乾電池、または別売品のBP-260(充電式電池)以外の電池を使用しないでください。
故障の原因になることがあります。
○本製品は、防水仕様のため、着脱レバーがかたくなっています。
着脱レバーをスライドさせるときに、指や爪をいためることがないようにご注意ください。

	使用後はリサイクルへ この製品は充電式電池使用機器です。希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になった電池は廃棄せず、端子部分をテープで絶縁し、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。充電式電池リサイクル協力店については、一般社団法人 JBRCのホームページでご確認ください。JBRCホームページ　https://www.jbrc.com/
---	---

■ アタッチメントの取り付けと使いかた

別売品のスピーカーマイクロホンや変換ケーブルなどをご使用の場合は、ケーブルの引っ掛かり防止や、負担軽減のために下記の手順にしたがってアタッチメントを取り付けてお使いください。

- アタッチメントを差し込みます。
- ケーブルを下図のようにアタッチメントに引っかけてご使用ください。



※取りはずしかたについては、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧ください。

